

Forest 通信 6

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター No.316

巻頭 photo 高尾山の生きものたち



近年減少傾向！

ノウサギ(ウサギ科)

過去に高尾山でノウサギを目撃したのは木下沢（こげさわ）で2回のみで、カメラを構えた瞬間には藪に逃げ込まれてしまいました。

当地方に生息するノウサギはなぜか「キュウシュウノウサギ」とか。積雪地帯ではないので体毛色は変化しません。

地域によると「準絶滅危惧種」に指定されており、私の観察歴から見ても生息数は減少にあります。その要因は、人間との競合による生息環境の減少があげられます。これ以上の減少は人間の力で阻止したいものです！

今月の一句

「野兔に会えて嬉しや裏高尾」

(写真・文 大作栄一郎氏)

二美ちゃん 富ちゃんの 俺の高尾

Vol. 1

アブラチャン (クスノキ科)

春先の沢筋に黄色い花をつけて春の訪れを伝えてくれる花のひとつであり、森林の中では低木層の樹木である。よく森林の見方のひとつで高木、中低木、低木層の見渡せる場所で「大きくなって天に突き出す木もあれば、低木で少ない光の中で枝葉を広げて生きている木もあります。しかし、森林というのは高木、中低木、低木と色々な木があるから成り立っているので、大木だけが素晴らしいというのではなく低木も森の中ではしっかりと役目を果たしています。人間の社会と同じように色々な人がいて社会が成り立っています。」と森林を擬人的に表現する話の仕方をしている。

このアブラチャンは秋に径1センチくらいの丸い実をつける。ある本によれば昔、この実を絞って行灯の油に使ったという記述があり本の受け売りで観察会等で説明していた。ある時森林インストラクターの仲間がこの実を沢山集めて油を絞ったことがある。その時の油で実際に火を付けたことがある。小さな平皿に灯心がありうっすらとした灯りの写真を見たときには感動したことを覚えている。ちなみにこの時の量は実が500個、採れた油は40CCと聞いている。その時の油を少し分けてもらった。私の宝物のひとつである。(富)



あぶらちゃんの油で灯火する



森林ふれあい推進センターは、皆さんが高尾山の自然に親しみ、森林や林業に理解を深めるための諸活動を行っています。

Forest通信 H27.6.1.No.316

森林カレッジⅠ ～森林の見方～



平成27年度森林カレッジⅠを5月23日(土)に実施しました。今年を受講生は「木について深く知りたい」「森について学びたい」「森林保全活動に興味がある」「林業体験に関心がある」「森林インストラクターを受験する」など、森林に興味を持った方々が32名集まりました。

森林カレッジⅠでは、午前の部として森林・自然環境技術者教育会会長の桜井尚武(さくらいしょうぶ)先生による「森林の見方」についての講義を行いました。天然林と人工林、人工林の管理の仕方、気候変動と森林の役割など幅広い話があり、参加者は熱心にメモを取ったり、樹木・森林について様々な質問をされていました。

午後は、高尾山稲荷山コースを散策しながら樹木の説明や森林の成り立ちなどについて学びました。気温も高く足場の悪い箇所もあり、また多くのハイカーとすれ違いながらでしたがフォレストサポートスタッフの方のサポートもあり無事全員山頂まで登りきりました。



稲荷山コースを登る



桜井先生の講義



樹木の特徴を学ぶ



真剣に聴き入る受講生達

受講生からは「森林の見方についての基礎に触れることができた」「森林の手入れや必要性について良く理解できた」「実際に歩いてみて尾根の北側と南側で木の様子が良く分かった」「木や葉について、楽しく説明していただけた」「樹木が水を吸い上げる構造は興味深かった」等の感想がよせられ好評のうちに終了することができました。



清滝駅横の
セッコク

森林教室



保育園へ 出前森林教室

5 / 1 4 (木)、三鷹市の保育園へ出向いて森林教室を実施しました。

森林教室は「おはようございま〜す！」と25名の元気な園児の挨拶から始まりました。

最初はパワーポイント版の紙芝居「もりのスグちゃん」で森林の大切さを学びました。

次は、楽しみにしていた丸太切りの体験です。園児は初めて持ったノコギリをうまく挽くことができずに苦労していましたが、だんだん慣れてきて切った輪切りをみんなで見せあいっこしていました。

丸太切りの後は、キーホルダー作りです。センターで用意した輪切りに、ピカソ顔負けな感性で思い思いの絵を描き、好きな色の紐を結んで完成です。

園児達は、「紙芝居が楽しかった」「丸太切りが良かった」など木材とふれあいながら、森林の大切さを感じてもらえた森林教室でした。



よいしょ！
ギコギコ！
あとちょっと！

何の絵を
書こうかな？



フォレストサポート・高尾 第7回定期総会開催

4月11日(土)、フォレストサポート・高尾(FS高尾)の第7回定期総会が開催されました。FS高尾とは、当センターで実施した森林カレッジの受講経験者からなる森林ボランティア活動組織です。当センターが行う小学校の森林教室など、イベント実施に無くてはならない頼りになる方々です。

当日は、代表の渡部三郎氏の挨拶に続いて、特別顧問から激励の挨拶がありました。

活動報告の後、役員交代があり、渡部三郎代表が代表を辞任し顧問に就任され、新代表には前副代表の武藤尚司氏が就任されました。渡部代表には、FS高尾創立時からの多大なるご尽力に感謝申し上げます。

新体制を迎えたFS高尾の皆様には、これからも当センターの活動にご支援とご協力をお願いいたします。



FS高尾のみなさん

フォレストサポート スタッフを委嘱しました

当センターが実施する森林教室などのイベントをサポートして頂ける方を公募して、関東森林管理局長が委嘱するフォレストサポートスタッフ(FSS)制度の委嘱式を5月20日(木)に行いました。この制度は昨年度から開始したもので、今年度は43名が委嘱されました。

当日委嘱式に出席されたFSSの皆さん24名は、委嘱証の交付に続いて、森林・林業の現状や林業労働災害の事例等について職員から説明を受けた後、現地で森林の働きや植物の名前等について学びました。

今後、皆さんの活躍により、森林や自然についての子供達の理解が一層深まるものと期待されます。



一層の活躍が期待されます

■高尾森林ふれあい推進センター協定イベント



参加者
募集中!

関東森林管理局長と協定を結んでイベントを実施していただく、5団体の夏のイベントをご紹介します。参加費・持ち物等の詳細はセンターHP内「協定イベント」ページからご確認ください。

1. 森林インストラクター東京会

『小下沢の溪流ジャブジャブ歩き』



実施日時：平成27年7月18日(土)

募集定員：50名(小学生以上の子どもとその保護者)

申込方法：往復ハガキに①イベント名②郵便番号、住所、電話番号、あればメールアドレス③申込者全員の氏名、年齢、性別④このイベントを知った経緯を記入の上、高尾森林ふれあい推進センター森林ふれあい推進事業「小下沢の溪流ジャブジャブ歩き」係までお申込みください。(応募者多数の場合は抽選)

締切期限：平成27年7月4日(土) 必着

2. 特定非営利活動法人 森とでんえん倶楽部

①『魚取りと植物観察教室Ⅰ』

②『魚取りと植物観察教室Ⅱ』



実施日時：①平成27年8月8日(土)

②平成27年8月9日(日)

募集定員：50名(小学生とその保護者)

申込方法：電子メール・FAX・郵便などで①イベント名②参加者全員の氏名(ふりがな)③年齢、性別、学校名④代表者の住所、電話番号、メールアドレスを記入の上、以下にお申込みください。ただし未就学児の参加はご遠慮ください。(応募者多数の場合は抽選)

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-21-3-203
特定非営利活動法人 森とでんえん倶楽部
「(イベント名)」係

TEL：03-3366-1233 FAX：03-5338-9692

申込メールアドレス：moritodenen@live.jp

締切期限：平成27年7月3日(金) ※①・②とも



編集後記

今月から新連載「俺の高尾」が始まりました。当センターが誇るベテラン森の案内人「二美ちゃん 富ちゃん」の2人が繰り出す、斬新な切り口の自然紹介コーナーにご期待ください!(ま)

Forest通信 H27.6.1. No.316 4

3. DAIGOエコロジー村『炭焼初級体験(Ⅰ)』

実施日時：平成27年7月4日(土)

募集定員：20名

申込方法：電子メール・FAX・郵便などで①氏名、年齢②住所③連絡先(携帯・メールアドレスなど)をご記入の上、以下にお申込みください。ただし18歳未満の方の参加はご遠慮ください。(応募者多数の場合は抽選)

〒193-0821 東京都八王子市川町244-132

DAIGOエコロジー村事務局 担当 川口武文 あて

TEL・FAX：042-652-5969

申込メールアドレス：kawagt@lilac.ocn.ne.jp

締切期限：平成27年6月27日(土)



4. 特定非営利活動法人 森と人のネットワーク

『高尾自然観察会(7月)』

実施日時：平成27年7月19日(日)

募集定員：40名

申込方法：電子メールで「高尾自然観察会(7月)希望」と明記の上、①参加者の住所②参加者全員の氏名、年齢③代表者の連絡先(メールアドレス)④電話番号(可能であれば携帯番号)を記入の上、下記のメールアドレスからお申込みください。(先着順)

申込メールアドレス：morijin.network@gmail.com

締切期限：平成27年7月5日(日)



5. 高尾パークボランティア会

『夏だ!高尾だ!水遊び!』

実施日時：平成27年7月26日(日)

募集定員：40名(小学生とその保護者)

申込方法：往復ハガキに①「夏だ・高尾だ・水遊び」参加希望と明記の上②申込者全員の氏名(ふりがな)、年齢、保護者の住所、電話番号③ハガキの「返直面」に申込者の宛名を記入の上、以下の住所にお申込みください。(応募者多数の場合は抽選)

〒193-0644 東京都八王子市高尾町2176

東京都高尾ビジターセンター

TEL：042-664-7872(10時~16時・毎週月曜日)

締切期限：平成27年7月10日(金)消印有効



Forest通信 No.316

発行：高尾森林ふれあい推進センター

Forest通信へのご意見・ご要望・イベントの

お申込み・お問い合わせ先

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター

〒193-0844 東京都八王子市高尾町2438-1

TEL 042-663-6689 FAX 042-663-7229

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>

